

平成 27 年 2 月 2 日

<各位>

ナノキャリア株式会社
代表取締役社長 中富 一郎
(4571 東証マザーズ)
問合せ先 CFO兼社長室長 松山 哲人
電話番号 04-7197-7622

Antibody/Drug-conjugated Micelle に関する物質特許の 日本における特許査定のお知らせ

がん細胞や疾患部位を標的にしたセンサーを結合し、薬物を患部へ確実に、大量に送達することを目的としたAntibody/Drug-conjugated Micelle (ADCM) に関する物質特許について、日本国特許庁から特許査定^{※1}を受けました。

【発明の名称】 ポリマーミセル医薬組成物
【出願番号】 特願 2014-550568
【特許権者】 ナノキャリア株式会社

本発明特許は、先行ADCM技術のさらなる改良版となる特許であり、ADCM技術の知財ライフサイクルマネジメントとしても寄与します。

ADCMは、アクティブターゲティング^{※2}を可能とする次世代型プラットフォーム技術で、世界的に開発が活発化している抗体医薬ADC (Antibody Drug Conjugate : 抗体薬物複合体) の課題を補う次世代型DDS技術です。ADCMは、ADCでは利用できない抗体や薬剤についても選択の幅を拡大できることから、アクティブターゲティングの発展に大きく貢献するものと期待しています。当社では、ADCMを適応した新規抗がん剤の開発を進めており、ヒトでの臨床試験開始に向け、非臨床試験等の準備を進めております。また、ADCMは抗体の性能を活かすことにより、がん以外の疾患領域への拡大も可能となる技術です。

当社は本技術を基に、ミセル化ナノ粒子の価値をさらに高め、画期的な医薬品の創造にチャレンジして参ります。

尚、本件による平成 27 年 3 月期業績への影響はございません。

※1 特許査定：

特許庁の審査によって「特許権を与える価値がある出願発明である」と判断された場合に示される評価です。特許査定後に特許料を支払うことによって、特許権が発生します。

※2 アクティブターゲティング：

標的細胞を狙った能動的なターゲティング療法です。がん細胞など病変部位に現れる特異的な抗原を認識するセンサー (抗体など) を利用し、病変部位への送達選択性をより高めます。患部への集積性を高めることで効果および安全性をさらに向上させることが期待されます。

以上